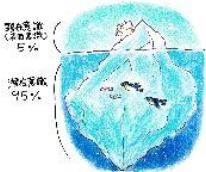




現場から（最近のニュースから）

## 自分でできる？



私たちは、毎日の生活の中で数えきれないほどの選択をしています。それらは、自分が選択したかのように思っていますが、実際には、その大半は無意識や潜在意識の中で、瞬く間に決定され、私たちの“意識”はその結果を後から追認しているだけだと最近の研究で分かってきたそうです。「自分で選んだ」と錯覚していることについて、筑波大学教授の櫻井 武『意識の正体』（幻冬舎）の一部から編集した記事がありました。

私たちの行動や感情は、まずは、無意識的に生成されるということです。不安や嫌悪、美的感覚、好悪の判断——これらは大脳辺縁系（編集部注／大脳の深部に位置する感情を扱う装置）で自動的に引き起こされていて、生体内の情報、つまり腸内環境やホルモン、心拍の変動といった身体の状態を無意識に検知して変容しているそうです。私たちは「感じて」いるのではなく、「感じさせられて」ともいえるということです。私たちの脳と身体は、意識にのぼるより先に、「生き延びるための即応的な身体応答と行動選択」を無意識的に実行しているということです。たとえば、蛇や銃声といった危険刺激に対しては、視覚や聴覚の情報が脳皮質を経由せず、視床から直接扁桃体に伝達される「短い経路（low road）」を通じて、即座に心拍数の上昇、呼吸の促進、発汗などの自律神経反応が引き起こされるようになってきているそうです。意識はそれを後から解釈し、「私は怖かったから逃げた」と物語化しているにすぎないということで、本人は自らの意識で逃げたと思い込んでいるのですが、実際は意識は後からだということです。

私たちの意識は、本来、世界を“自分で”観察し、判断し選び取るためのシステムだと言われます。五感——視覚、聴覚、嗅覚、味覚、体性感覚はそのためのセンサーであり、それらは記憶と照合しながら無意識層が処理する情報を意識に提供するというものです。しかし、最近では私たちの五感、人工的につくられたネットワークの中の情報を獲得するためのセンサーに変化してきていると警告されています。自分が選択するより先に、すでに自分仕様に選択された情報が与えられるので、自分の意識はどんどん鈍化していると言われます。自分が選んだと思っていることが、すべて選ばれたことに変わって行っているということです。もう一度、自分の意識を取り戻す必要があるということの記事では書いてありました。（3月14日 DIAMONDOnline<「自分で決めた」はただの錯覚。脳科学が暴く、あなたの人生を操る“黒幕”の正体>より）

自分が知らない間に、自分ではない外側からの操作によって動かされているということは、とても恐ろしいことですが、私たちが知らない間に行われるので、私たちではどうしようもありません。また、その情報を自分が受け取っても、意識ではない部分でまず身体が反応しているので、意識ではどうしようもないでしょう。それなのに、私たちは、自分でなんとかできると思っています。ほんとうは、すべて自分では何ともできないということではないのでしょうか。まず、自分では自分のことすら何もできないという事実を認めるとき、それなら、いったい何によって生きれば良いかを見ることができます。あなたが、自分の力の限界を感じているなら、自分をどうにかしようとするのではなく、いままで知らなかった事実があることに目を向けてはどうでしょうか。あなたが知らない事実があり、実は、それがあなたの人生を決定しているのです。そのことについていっしょに見てみませんか。



## 救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になるし、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」